

令和2年度第5回地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 議事録

日 時	令和3年1月28日（木）10:00～10:30	
場 所	オンライン会議（事務局：福岡市役所 1507 会議室）	
出席者	委員	福岡市医師会 副会長 松浦 弘 独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター 院長 藤 也 寸 志 九州大学大学院医学研究院 准教授 福田 治 久 福岡県看護協会 会長 大和 日美子 公認会計士 行正 晴 實
	事務局	福岡市保健福祉局長、同理事、同健康医療部長、同医療事業課長
	病院機構	理事長、副理事長、運営本部長、法人運営課長、 福岡市立こども病院事務部長、同看護部長、同総務課長、同経営企画課長、同医事課長 福岡市民病院事務部長、同看護部長、同総務課長、同経営企画課長、同医事課長
次 第	1 開会 2 議事 （1）地方独立行政法人福岡市立病院機構第4期中期計画について 3 その他	
配付資料	資 料 1 第4期中期計画（第4回提示素案）との比較対照表 資 料 2 地方独立行政法人福岡市立病院機構 第4期中期計画 資 料 3 第4期中期計画認可にあたっての意見書 参考資料 1 関係法令（抜粋） 参考資料 2 第3期中期目標期間中の各年度実績値等及び第4期中期計画の目標値 参考資料 3 地方独立行政法人福岡市立病院機構第4期中期目標 参考資料 4 第3期中期目標と中期計画の比較対照表	

○事務局

【資料1、2、参考資料、計画の審議について説明】

○委員長

それでは、ただいま事務局の方から説明がありました、第4期中期計画についてのご意見を、順次ご発言いただきたいと思います。

○委員

前回の評価委員会で意見を述べた点については、きちんと指標等に反映されていると思います。

基本的には賛成なのですが、1点確認させていただきたい点がございませぬ。

様々な研修について参加率を設定されておられますが、90%という非常に高い目標となっています。目標値が高いことは良いことだと思いますが、その参加率の測定方法はこども病院と市民病院で共通の方法があるのか、どのような方法で行うことを想定して90%という目標値にしたのか、というところをお伺いできればと思います。

研修は院内のLAN等も活用して実施できるかとは思いますが、すべての研修会、訓練の参加が90%というのは、大変高い目標になると思います。特に災害時訓練の参加率が90%というのは、非常に高い目標にも思えますが、達成の難しさなどをどのように考慮してこの目標値を設定されたのか、お伺いできればと思います。

それから、研修に関連して、11ページの医療安全研修だけ目標値が回数になっていますので、参加率に統一した方がよろしいのではないかと思います。

他のところについては意見等ございませぬ。

○病院機構（運営本部）

研修の参加率につきまして、これは当然必要な研修をやっておりますので、目指すべきところは本来なら100%ということと考えておりますが、業務の都合等でどうしても参加できない場合があるということも考慮して90%としております。確かに高い数値目標ですが、コンプライアンス等につきましてはご意見をいただいたところでもありますし、100%を目指していくということと考えております。

実施方法につきましては、基本的には今後検討してまいります、参加しやすいWEB形式等も使いながら、職員に対する意識づけも含めて行っていくことが大事だと思います。IT等も駆使してできる限り、90%、それから100%の参加率を目指していきたいと考えております。

災害時参集訓練等につきましては、安否情報システムANPICという、ウェブで安否確認等を行えるようなシステムを入れておりますので、活用してしっかり行っていこうと思っております。

医療安全等の研修につきましては、受講者を指名して行うグループワーク等の実践的な研修を想定してございませぬ、参加率は100%になるのが前提となっております。むしろ繰り返し研修を行い技術等の習得ができるよう、回数をしっかり確保することが重要ではないかと考え、研修開催数を目標値といたしました。

○委員

ウェブでの研修は今後増えると思いますが、職場によってはパソコンを使いにくい職員もいるかと思えます。

例えば、病院によっては、医師には全員個人用のパソコンを配置できていますが、看護師全員には配置できていないことがあります。その場合、看護師には共有のパソコン等を使って、複数人で一緒に研修に参加してもらわなければなりません。その時の出席をどのように把握するか検討しておかなければ、研修は実施したが参加率がわからない、ということが起こりうると思えます。

そのような点に注意して実施していただければ、目標が90%だというのは素晴らしいことだと思います。

○委員

前回ご指摘させていただいた点について、反映していただいたかと思えますので、全体的にこの内容でよろしいのではないかと思います。

先ほどの委員からのご指摘を伺いまして、私も参加率の分母をどのように決めるかという点については、あらかじめ設定しておく必要があると思いました。

例えば参加者の母数に非常勤の方々も含めるのか、研修の対象者の範囲をどこまでにするかということについてあらかじめ決めておかないと、参加率を計算する際に困ってしまうと思えます。参加対象者の設定についても、あらかじめ計算方法を定義しておいた方が良いかと思えます。

○委員

他の委員も仰っていましたが、この研修の参加率、特に8ページの災害時参集訓練参加率についての確認です。

おそらく各病院で災害時の参集基準を設定されているのではないかと思います。その災害の起こった規模により参集する職員を限定してあれば、90%または100%の参加率が可能ではないかと思いましたが、そういう理解でよろしいでしょうか。

災害の発生から緊急参集、業務遂行または災害対策本部の立ち上げというところまでを訓練なさるのでとは思いますが、限定的な職員を参集するという意味で、目標値を90%と高く設定したという理解でよろしいでしょうか。

○病院機構（運営本部）

委員からご意見いただいたような訓練ももちろん検討しておりますが、今、具体的に方法を検討しているのは先ほど申しあげましたANPICを使った訓練です。

これは、職員のスマートフォン等を活用して安否確認を行う仕組みとなっておりますので、災害発生を仮定した安否確認を全員に流し、それに対する返信等を行う訓練を、全職員参加で行いたいと考えています。

訓練は1回限りではありませんので、指定された職員がきちんと災害本部設置等に対応できるかどうかなども、訓練を重ねる中で行っていただければと思います。

○委員

基本的には全職員を対象にして、90%の参加率を目指すということですね。

他の部分については、全体的に前回の評価委員会で提案されたことが反映されていると思いましたが、特に疑義はございません。

○委員

予算については、一番不確定だった市からの運営費負担金が、4年間の合計額 80 億で確定したこと、旧こども病院跡地の整備費用が2億円含まれていることなどから、しっかりした予算になっていると感じました。

○委員長

それでは、他にご意見等もございませんので、第4期中期計画について、本評価委員会としてはこの内容で了承させていただきます。よろしいでしょうか。

○各委員

(了承)

○委員長

ありがとうございます。

○事務局

【資料3について説明】

○委員長

資料3の意見書について、ご意見やご質問はございますか。

○各委員

(了承)

○委員長

それでは、ご意見等もないようですので、この意見書につきましては、この文案で市長の方に提出することにしたいと思います。

その他

○事務局

【来年度の評価委員会の審議事項等について説明】

○委員長

それでは、以上をもちまして、本日の予定された内容の審議は終了でございます。

今年度の本評価委員会の審議事項を無事に行うことができました。委員の皆様方におかれましては、円滑な進行にご協力いただき、委員長として厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

○事務局

【閉会のご挨拶】